

'91年もCMSCのさらなる発展の年に。

明けましておめでとうございます。

最近ではモータースポーツに対する一般社会の関心、評価も高まり、モータースポーツに携わる者として大変うれしく、また励みに思っております。

昨年はわがCMSCも、各支部が積極的に活動していただいた結果、めざましい発展の年となりました。CMSC愛知の発足、夏の全国大会では約200名のクラブ員が全国から集結するなど、クラブ員同士の交流を一層高めることができました。

また、クラブ員個人の活動にも目を見張るものがありました。全日本ラリー、全日本ダートトライアル、さらに、サーキットではミラージュカップを中心としたレース活動など、本当に素晴らしい成績を残され、クラブを代表する者として大変光栄に思います。

さて、今年も昨年以上にモータースポーツに対する注目が高まると予想されます。このような状況の中で、全国に支部を持つモータースポーツクラブ・CMSCとし

ては、全国の数あるモータースポーツクラブのお手本となる存在でなければなりません。

安全の問題、環境破壊の問題など、モータースポーツが抱える問題は多々あります。モータースポーツはルールを無視すると非常に危険なスポーツですので、安全には細心の注意を払って活動されることをお願いします。またラリーについては、一般公道での競技ですので、一般社会との良い関係を保ちつつ、モータースポーツの発展と振興をすすめるようお願いします。

新年早々から各支部の主催イベントやクラブ員の活動など、今年の活動計画が本部に報告されています。本部としては、皆様が活動しやすいフィールドを創ることに最大限の努力を払い、市民権を得つつあるモータースポーツを一般社会に定着させていこう、その一翼を担いたいと思っております。

皆様の安全を祈るとともに、CMSCのさらなる発展の年となるよう、お願いいたします。



CMSC会長 外川 一雄



CMSC山形・砂塚明男選手'90全日本ダートトライアル第7戦(広島)AIII制覇2勝目をあげる。

CMSC勢、AIIIクラスシリーズ2、3、5、6位に!!

'90全日本オールスターダートトライアル/'90全日本ダートトライアル選手権/11月24日~25日

榎田正文選手(CMSC岐阜)

「全日本3連覇を達成できず残念です。しかしシリーズ2位には満足。来年はチャンピオン奪還を狙って頑張ります。」



荒井信介選手(CMSC群馬)

「第2戦で優勝でき、また最終戦までチャンピオン争いに残り、良いシーズンでした。来年はチャンピオン目指して頑張ります。」



赤羽政幸選手(CMSC山形)

「8戦ともポイントを稼げたことが良かったと思います。優勝できなかったため、来年は優勝を目標に、更に上位を目指します。」



砂塚明男選手(CMSC山形)

「第5戦、第7戦で優勝してきたが、波がありすぎポイントが稼げなかったのが残念。前半の不調が最後まで響いてしまった。」



'90全日本ダートトライアル選手権シリーズポイント(全8戦中上位5戦有効ポイント) AIIIクラス

1位	84ポイント	西尾雄次郎		三菱ギャラン
2位	72ポイント	榎田正文	(CMSC岐阜)	三菱ギャラン
3位	67ポイント	荒井信介	(CMSC群馬)	三菱ギャラン
4位	62ポイント	湯本敬		日産ブルーバード/パルサー
5位	51ポイント	赤羽正幸	(CMSC山形)	三菱ギャラン
6位	48ポイント	砂塚明男	(CMSC山形)	三菱ギャラン
7位	45ポイント	山下公男		スバルレガシィ
8位	22ポイント	諫山宣憲		三菱ギャラン
9位	21ポイント	杉本達也		三菱ギャラン
10位	15ポイント	小泉秀明		三菱ギャラン

去る11月24日・25日、「'90全日本オールスターダートトライアル」が、全国から強豪選手を集めて、開催され、'90全日本選手権も幕を閉じました。

注目のAIIIクラス(200cc以上)では、シリーズチャンピオン争いがこの最終戦までもつれ込み、しかも三菱ギャラン勢同士が僅差でポイント争いを展開するという大接戦となりました。わがCMSC勢では、今季未勝利ながら、第7戦まで2位、7位、7位、4位、2位、3位、2位とコンスタントに上位に入賞している榎田正文選手(CMSC岐阜)が、ポイントランキング1位で3年連続チャンピオンの最有力候補。また第2戦で優勝して気を吐く荒井信介選手(CMSC群馬)も、第4戦5位、第5戦4位、第6戦2位、第7戦4位とポイントを稼ぎ、チャンピオン獲得に意欲を燃やします。

そして、第7戦まで、7位、2位、4位、10位、8位、4位、5位、とコンスタントにポイントを稼いだ赤羽政幸選手、シリーズ前半不調ながら第5戦、第7戦に優勝した砂塚明男選手のCMSC山形勢もランキングの好位置に付けています。

最終戦ではフラットなハイスピードコースを豪快な走りで攻めた荒井選手が2分09秒81と好タイム。榎田選手もここの一番の大勝負にベテランの本領を

発揮し、2分09秒61とすばらしいタイムでトップを奪取。しかしポイントランキング2位につけている西尾雄次郎選手が、それを0秒38上まわる2分09秒23でトップを奪い、残念ながら榎田選手の3年連続チャンピオンは成りませんでした。

'90シリーズランキング(AIII)では、2位榎田選手、3位荒井選手、そして5位赤羽選手、6位砂塚選手とベスト6に4人がランクされました。

またCIIIクラスでは、千田俊二選手(CMSC札幌)が、第4戦優勝をはじめ、第5戦3位、第6戦2位と好成績をあげてシリーズ4位に入っています。

CMSC勢の活躍が目立った'90シーズンでした。

千田俊二選手(CMSC札幌)

「'90年より全日本ダートに転戦したが、早くも第4戦で優勝でき、大いに自身がつきました。資金が続く限り頑張りたいと思います。」

'91年は全日本戦にエントリー

(CMSC青森 梶沢宏之)

CMSC青森 梶沢宏之選手の'90シーズン

'90シーズンはB・C地区戦とJMRC東北ラリー選手権の両タイトルを追いしました。

B・C地区戦は、資金の都合から、全9戦中5戦に参加しました。結果の方は、MSC20ウインターラリーで4位、群馬アルペンラリーで8位、コンペミニツアーでは入賞外とバツとせず、先輩の大西選手にかなり強くハッパをかけられました。

私にとって当クラブは、とても環境の良いものです。というのも、かの有名な三羽鳥と館山・大西・福土選手

という先輩が周りにいるからです。車のセッティングや練習法と、先輩方から色々アドバイスをもらえることができるからです。

特に大西選手は、練習で一緒に走ってくれるので、タイム差やコーナーのラインどりを比較でき、参考になります。またスランプに陥った時、積極的に彼の横に乗せてもらい、その走りを頭の中にイメージして走るようにしています。

その結果、後半戦はEASTラリーチャレンジで5位、ベルナルサマラリー

1~4位と、B・C地区戦1年目としてはそこそこの成績を残せました。

また東北シリーズでは、全4戦中3戦に参加し、第1戦、第2戦と連続優勝、3戦目が3位と予想以上の成績が残せました。特に第1戦では、先輩の館山選手も参加しており、絶対優勝すると自分にプレッシャーをかけての優勝でしたので自信ができました。またナビの石田君もB・C地区戦への参加により、勝負度胸もつき、当クラブの先輩ナビにも引けを取らないナビに成長したシーズンでした。

このようにして、先輩三羽鳥に続き、'90東北シリーズチャンピオンをとれたことは、大変うれしく思います。

'91シーズンは、B・C地区、東北シリーズ両タイトルを目指してがんばりたいと思います。また全日本にも1、2戦エントリーしたいと思うので、よろしくお願ひします。



ジムカーナシリーズ戦を振り返って

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

'90CMSC ジムカーナ青森シリーズ/CMSC青森

今年はクラブ主催によるジムカーナを、シリーズ戦で4戦開催しました。

近年ジムカーナ熱も高く、ジムカーナファンからは公認イベント開催を望む声が高まっています。またクラブの若手の要望もあり、モータースポーツの底辺拡大を目的に、開催にふみきました。

当クラブでは今までにラリー、ダー

トラの開催経験はありましたが、ジムカーナは初めてでしたので、多少の不安はありました。レギュレーション作りからエントラント集めに、毎戦ごとに何回もミーティングを開き、また開催前日には、会場に泊り込んでコースの安全対策には万全を配すなど、当クラブのジムカーナ部長、小館選手を中心としたクラブ員の努力もあり、全

4戦を大盛況のうちに終了することができました。

シリーズ最終戦の第4戦(9月2日)には、JMRCジムカーナシリーズ戦CIIチャンピオンの高橋利武選手を招き、エントラント、ギャラリーから大好評を得ました。

また9月30日にはシリーズ戦の表彰式を行い、シリーズ戦の成功を祝うと

ともに、'91年も続けて開催することを全員で確認し合いました。

